

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	29	新型コロナウイルスの蔓延により、地域との交流・繋がりについて疎遠な状況となっている現状。地域密着という観点より、地域との深耕を図る必要がある。	地元の地区長や民生委員、在宅介護ケアマネジャー等との交流機会を持ち、地域密着という観点を深掘りしていきたい。また松井田病院との医療連携は行っているものの、他の地域医療機関とも交流を行い、医療体制を補っていきたい。	現状は地域地区の班長を務めさせて頂いており、さらなる交流機会を拡げていきたいものの、運営推進会議における意見交換の中で、コロナウイルスを含む感染症の蔓延状況には常に危機感を持って欲しいとの言葉を頂いたため、現在は慎重に判断をしているところです。	12ヶ月
2	33	終末期や看取り時における家族や医療機関との情報共有や連携。さらに看取りにおける職員の経験不足について。	ご家族の希望やタイミング等もあるので一概には言えないが、当施設での看取りをさせて頂き、医療機関との情報や連携面の再確認、そして職員の大切な経験として得られる機会があればと考えている。	終末期におけるご家族の意向につき、最低でも半年に1回の再確認を実施するようにしている。またご入居者様の容態に応じて適時適切な機会に意向確認をするよう心掛けている。あくまでもご家族の意向が最優先ですので、看取りは手段の一つとして拘らないようには注意する。	?ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。